

「第35期はなやまボランティアスクール」開催要項

1 趣 旨

ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行うとともに、体験活動の指導者や支援者としての技術とボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。

2 目 標

★青少年教育施設におけるボランティアの役割とボランティア活動について理解する。

★自然体験活動の指導方法や救命救急法と安全管理などボランティアとしてすぐに生かせる知識や技術を習得する。

★参加者や先輩ボランティアとのふれあいを通して、ボランティアとしての意欲を高め、研修終了後ボランティアとして活動する。

3 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

4 期 日 平成26年4月26日(土)～4月27日(日)【1泊2日】

5 場 所 国立花山青少年自然の家 及び 施設周辺フィールド

6 対 象 高校生以上のボランティア活動に興味関心を持つ方(一般成人・学生・高校生)30名

7 参加費 2,800円

【内訳】食費2,100円(朝1回,昼2回,夕1回,野外炊事も含む),
傷害保険代200円,シーツ等洗濯費用200円,資料代等300円

8 持ち物 参加費・野外活動に適した服装(寒さ汚れに耐えられることのできる服装)・運動靴
着替え・上履き・筆記用具・洗面用具・タオル大小・雨具・帽子・軍手・リュックサック
水筒・健康保険証(写しでも可)等

9 内容及び講師

(1) <講義Ⅰ>「青少年教育の理解」

<講義Ⅱ>「ボランティア活動の意義」

<講義Ⅲ>「青少年教育施設におけるボランティア活動の理解」

講師：文教大学人間科学部 専任講師 青山 鉄兵 氏

(2) <実習Ⅰ> はなやまアドベンチャー教育(HAB)プログラム体験「野外炊事」

国立花山青少年自然の家 企画指導専門職 村上 卓

(3) <実習Ⅱ>救急救命法「普通救命講習Ⅰ」

講師：栗原市消防本部職員

(4) <講義Ⅲ>「青少年教育施設の現状と運営」

国立花山青少年自然の家 次長 熊木 邦夫

(5) <説 明>「法人ボランティアの登録について」

国立花山青少年自然の家 事業推進係 庄子 佳吾

10 日程(予定)

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
4/26 (土)	送迎 ・ 受付	開 講 式	〈講義Ⅰ〉 青少年教 育の理解	登 録 に つ い て	昼食 ・ 休憩	〈講義Ⅱ〉 ボランティア活動の意 義 〈講義Ⅲ〉 青少年教育施設におけ るボランティア活動の 理解			休 憩 ・ 準 備	〈実習Ⅰ〉 HABプログラム体験 野外炊事			入浴 ・ 休憩	就 寝
4/27 (日)	身 支 度 ・ 朝 食	〈実習Ⅱ〉 救急救命法 普通救命講習Ⅰ		昼食 ・ 休憩	〈講義Ⅳ〉 青少年教育 施設の現状 と運営		登 録 手 続 き	閉 講 式	送 迎 ・ 解 散					

11 交通案内

東北新幹線くりこま高原駅と高速バス栗原市役所前から、国立花山青少年自然の家までの送迎をいたしますので、別紙参加申込書に希望をご記入ください。

【迎え】4/26(土)

・くりこま高原駅発 9:30(新幹線上り 9:16着, 下り 9:23着, 高速バス 9:20着)

【送り】4/27(日)

・栗原市役所前着 16:40(高速バス 16:42発)

・くりこま高原駅着 16:50(新幹線上り 17:16発, 下り 17:05発)

12 参加申込み

(1) 参加申込方法 ※①もしくは②の方法でお申し込みください。

①国立花山青少年自然の家のホームページ上のWEB申込フォームに必要事項を入力し、お申し込みください。

②別紙の参加申込書に必要事項を御記入の上、メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

(2) 参加申込締切 平成26年4月18日(金) 17:00まで

13 その他

★本事業終了後、所定の内容を履修された方には修了証が交付されます。また、国立青少年教育振興機構本部に登録し、国立花山青少年自然の家をはじめとする全国28施設でのボランティア活動が可能となります。ボランティア活動の際には、社会福祉協議会のボランティア保険に加入していただくため、別途300円が必要となります。

★ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理し、この事業のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。また、本事業で撮影した写真などを広報等で使用させていただくことがあります。

〒987-2593 宮城県栗原市花山字本沢沼山 61-1

tel: 0228-56-2311/ fax: 0228-56-2469

E-mail: hanayama@niye.go.jp http://hanayama.niye.go.jp/

本事業担当 村上 卓・庄子 佳吾